

## 第8回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞・同推進賞受賞者

標記の賞につき、会員の皆さまよりご推薦いただいた候補のなかから選考の結果、2014年度は学会賞1件・推進賞1件の下記授賞を決定いたしました。今後とも本賞の発展にご協力くださいますよう、お願いいたします。

### ◆第8回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞

〔賞の概要〕

『アート・ドキュメンテーション研究』、『アート・ドキュメンテーション通信』、その他の雑誌に掲載の論文・記事、図書、データベース、展覧会、ウェブサイトのなかから優れたものを選出。会員に限らない。対象となる論文・記事、図書、展覧会は、受賞年の前年度を含む過去3年間に発表されたものとする。

受賞	<p><b>岡野 裕行 氏</b></p> <p>『文学館出版物内容総覧—図録・目録・紀要・復刻・館報』編集の業績に対して</p>
授賞理由	<p>岡野裕行氏は早くから文学館の活動に関する研究を続け、その成果は学位論文『日本近代文学研究における文学館の役割—「全国文学館協議会」加盟文学館の発行物を中心に—』としてまとめられている。</p> <p>本書は、氏の研究の基礎となった全国の文学館による出版物の集大成であり、これまで多くが灰色文献であった図録・目録・紀要等の文献の書誌と内容を網羅的に紹介したものである。本書の刊行は後進の研究者に大きな便宜を与えるばかりでなく、文学館自体の活動に対する理解の促進にも大きな寄与を果たすものである。</p> <p>よって、アート・ドキュメンテーション学会は、第8回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞を授与するものである。</p>

### ◆第8回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション推進賞

〔賞の概要〕

アート・ドキュメンテーション関係業務の現場において、効果的かつオリジナリティを発揮した者、あるいは機関を選出。会員に限らない。

受賞	<p><b>飯野 正仁 氏</b></p> <p>美術館、美術専門誌におけるドキュメンテーション活動と『戦時下日本美術年表』の編纂に関わる業績に対して</p>
授賞理由	<p>飯野正仁氏は、永年、1930年代から1945年にいたる日本および満洲の美術活動を追跡されてきた「満洲美術年表」は『「帝国」と美術』（国書刊行会 2010年）に収載され、必須の基礎資料との評価を得ている。今回の『戦時下日本美術年表』（藝華書院 2013年）は、A4判、1200ページを超える大部な書籍となり、美術についての重要な雑誌記事の再録、および作品図版が掲載されている点は特に評価できる。作家約1200名、展覧会700件、図版3500点を収録した本書は、戦時下における近代日本美術の研究に欠くことのできない領野を切り開いたといえよう。</p> <p>よって、アート・ドキュメンテーション学会は、第8回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション推進賞を授与するものである。</p>

※第9回 野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞・推進賞の推薦募集は、2015年1月下旬の開始予定です。詳細は『アート・ドキュメンテーション通信』および学会のウェブサイトにて告知いたします。会員のみならずには、ぜひ多くの推薦をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：アート・ドキュメンテーション学会事務局

〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内

電話：03-5307-1175 E-mail:jads@univcoop.or.jp